

2. 企画委員会

令和7年度の企画委員会における主な活動状況は次のとおりである。

2-1 委員会の構成

委員長	稲庭 康之	(SWCC)
副委員長	淡路 貴洋	(住電機器システム)
委員	石川 信治	(スリーエム ジャパン イノベーション)
〃	西野 宏	(OBARAエナジーコンポーネンツ)
	(令和7年10月1日より社名変更 (旧 日本エナジーコンポーネンツ))	
〃	芹沢 徹	(古河電工パワーシステムズ)
〃	池本 勝則	(谷川電機製作所)

2-2 委員会開催日及び場所

第97回	令和7年	6月 3日	JCAA事務所
第98回	令和7年	9月11日	JCAA事務所およびWEB会議
第99回	令和7年	12月11日	JCAA事務所およびWEB会議
第100回	令和8年	3月17日	JCAA事務所およびWEB会議

2-3 委員会出席者 計 23名

2-4 審議資料 計 34件

2-5 審議内容及び主な活動状況

(1) 電力ケーブル接続技術に関する調査・研究及び開発事業

- ①WGを設置し東京電力パワーグリッド株式会社からの受託研究「ポリマー製耐塩害終端接続部の基礎研究(その16)」を実施し完了した。

(2) 電力ケーブル接続技術に関する講習会及び講演会等の開催事業

①高圧ケーブル工事技術認定講習会

- ・(一社) 日本電気協会関東支部 新規講習及び更新講習
(北陸支部も含む)
- ・(一社) 日本電気協会関西支部 新規講習及び更新講習
- ・(一社) 日本電気協会中国支部 新規講習

②地中線用GR付高圧負荷開閉器施工技術認定講習会

- ・(一社) 日本電気協会関東支部

③技術講演会

令和7年10月28日に ふれあい貸し会議室 五反田 No79にて開催し、以下の4テーマについて講演いただいた。

(参加者：42名)

- 1) 架空アルミ配電線における自然環境劣化対策の取組み
(東京電力パワーグリッド株式会社)
- 2) 2025 年版高圧受電設備規程の改定概要について
(一般社団法人日本電気協会)
- 3) 地中送電設備の監視・保全に対するICT 技術の適用
(電力中央研究所)
- 4) 66/77kV プレハブ式接続部のゴムストレスコーンやケーブル表面の析出物の記録・測定法
(電力中央研究所)

④CVケーブル接続部の基礎（営業関係者向け）講習会

令和7年11月6日にオンライン配信にて開催し、CVケーブル接続部基礎技術（営業関係者向け）に関する講習会を実施した。（オンライン参加：61名）

⑤CVケーブル技術講習会（初級コース）

令和8年1月29日に一般社団法人 電線総合技術センター（浜松）にて、電力ケーブル接続部設計技術者向けとして「CV ケーブル技術講習会（初級コース）」を開催した。

(参加者：14名)

⑥国内研修会

令和7年6月19日に「2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」を訪問した。（参加者：30名）

(3) 電力ケーブル接続技術に関する内外関係機関との交流事業

- ①国研・大学研究所を訪問し、各国研・大学の紹介と電力関係の研究の取組みについて会報に掲載することとし、本年度は次の大学、研究所を訪問した。
 - ・令和7年 6月30日：埼玉大学工学部（電気電子物理工学科）
 - ・令和7年12月 3日：東京電機大学（電気電子工学科）

(4) 電力ケーブル接続技術に関する普及啓発事業

- ①会報の発行：会報No. 109号、No. 110号を発行した。
- ②ケーブル接続用品出荷統計資料を作成し、会報及びホームページに掲載した。
- ③新聞雑誌への掲載
 - ・令和7年10月31日付け電気新聞に「10月28日開催のJCAA技術講演会」の記事を掲載した。

- ・令和8年1月19・26日合併号の電線新聞に「会長年頭あいさつ」の記事を掲載した。
- ・令和8年1月19日付け電気新聞に「1月14日開催のJCAA賀詞交歓会」の記事を掲載した。
- ・令和8年2月19日付け電気新聞に「会長インタビューを中心としたJCAA特集記事」を掲載した。

④電力ケーブル接続作業DVD、ハンドブックのPR
講習会の場所等を利用してPRを実施した。

(5) 組織基盤の強化

①協会の会員動向

正会員入退会 : なし

賛助会員入退会 : 2社退会、2社入会

令和7年度末現在 正会員 : 12社

賛助会員 : 54社 計66社

(6) JCAAビジョン ～信頼の技術でつなぐ未来への架け橋～ について

①高圧ケーブル工事技術認定講習会の未実施地区への展開

②ケーブル接続用品関係者向け研修会の開催

令和7年11月6日にオンライン配信にて、CVケーブル接続部基礎技術（営業関係者向け）、令和8年1月29日に一般社団法人 電線総合技術センター（浜松）にて「CV ケーブル技術講習会（初級コース）」を開催した。

(7) JCAAビジョンに沿った新事業および重点テーマの検討

JCAAの活動内容を更に会員のニーズに合ったものにしていくため、～信頼の技術でつなぐ未来への架け橋～ を継続ビジョンとし、新事業および重点テーマの検討を行った。